

# 天草家保通信平成27年1月号

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3

電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393

ホームページアドレス <http://www.pref.kumamo.jp/site/amakusa-1219>

電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



## 本年もよろしくお願ひします

新年明けましておめでとうございます。

昨年は本県で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生や、豚流行性下痢の流行があり、振り返れば防疫の一年でした。

熊本県でのHPAIの際は関係者の皆様のご協力もあり、発生を1件でとどめる事が出来ました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。



国内に目を向けますと、年末から宮崎、山口県でHPAIが発生し、多くの県で野鳥からウイルスが検出されています。更に、韓国などの近隣諸国では口蹄疫が続発している状況です。引き続き緊張感をもって業務にあたって参ります。本年もよろしくお願ひします。

## 平成27年定期報告について

平成23年の家畜伝染病予防法改正により、家畜飼養者は**2月1日時点**での家畜の飼養状況について県に報告することが義務づけられています。既に様式が届いている頃だと思いますが、皆様のご協力よろしくお願ひします。

また、**小規模飼養者**(※)についても2月1日時点での飼養頭羽数を報告することが義務づけられていますので、報告をよろしくお願ひします。様式については家畜保健衛生所または各市町村へお尋ね下さい。

※小規模飼養者：以下の条件に該当する家畜飼養者

牛・水牛・馬：1頭飼育まで

豚・いのしし・めん羊・山羊・鹿：各6頭未満

鶏・あひる・うずら・きじ・ほろほろ鳥・七面鳥：各100羽未満

ダチョウ：10羽未満

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」



# 宮崎、山口、岡山、佐賀でHPAIが発生

疑似患畜確定日	発生県	飼養規模	備考
12月16日	宮崎県	種鶏 約4,000羽	高病原性(H5N8)
12月28日	宮崎県	肉用鶏 約42,000羽	高病原性(H5N8)
12月30日	山口県	肉用種鶏 約37,000羽	高病原性(H5N8)
1月15日	岡山県	採卵鶏 約200,000羽	高病原性(H5N8)
1月18日	佐賀県	肉用鶏 約44,700羽、 約28,200羽	高病原性(H5亜型) 管理者が同一のため 発生は2農場

平成26年12月から、宮崎、山口、岡山、佐賀県の合わせて6農場で高病原性鳥インフルエンザが発生しています。佐賀県の事例は確定検査中(1/19現在)ですが、その他の4事例で検出されたウイルスはいずれもH5N8亜型であり、熊本県で発生したものと同一型でした。なお、12月28日の宮崎県での発生を受け、熊本県でも消毒ポイントを設置しました。

また、下の表で示すとおり、死亡野鳥等の検査では既に11例で鳥インフルエンザウイルスが確認されており、熊本県内にウイルスを保有する野鳥が居てもおかしくない状況になっています。

養鶏農家の皆様におかれましては、引き続き飼養衛生管理基準遵守状況の再確認や消毒等を含めた本病の侵入防止対策を徹底していただくとともに、異状が認められた際は遅滞なく家畜保健衛生所まで通報するようお願いいたします。

※ 感染した鶏肉等は市場に流通していません。また国によれば、鶏卵や鶏肉を摂取する事で鳥インフルエンザウイルスが人に感染する可能性は無いとしています。

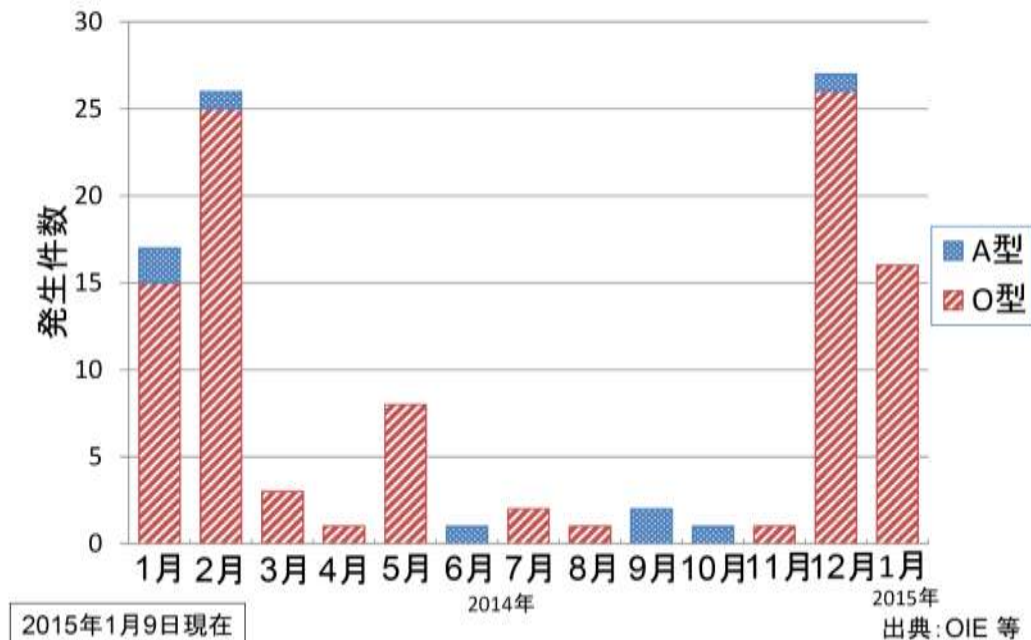
番号	都道府県	場所	種名	回収日	確定検査
1	島根県	安来市	渡り鳥糞便	11月3日	HPAIウイルス(H5N8亜型)
2	千葉県	長生郡長柄町	カモ類糞便	11月18日	HPAIウイルス(H5N8亜型)
3	鳥取県	鳥取市	カモ類糞便	11月18日	HPAIウイルス(H5N8亜型)
4	鹿児島県	出水市	マナヅル	11月23日	HPAIウイルス(H5N8亜型)
5	兵庫県	南あわじ市	アイガモ (野生化個体)	11月29日	鳥インフルエンザ ウイルス(H1N1亜型)
6	鹿児島県	出水市	環境試料 (ねぐらの水)	12月1日	HPAIウイルス(H5N8亜型)
7	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12月7日	HPAIウイルス(H5N8亜型)
8	岐阜県	可児市	オシドリ	12月12日	HPAIウイルス(H5N8亜型)
9	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12月17日	HPAIウイルス(H5N8亜型)
10	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12月24日	HPAIウイルス(H5N8亜型)
11	鹿児島県	出水市	ナベヅル	1月3日	HPAIウイルス(H5N8亜型)

今シーズンの鳥インフルエンザ検査状況 環境省HP([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/))から引用 (確定した事例のみ抜粋しています)

# 近隣諸国での口蹄疫の発生状況

## 東アジア地域\*における口蹄疫の月別発生件数の推移(2014年～)

(\* 中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、ロシア(極東ロシア・サバイカリエ地方)、モンゴル、カザフスタン(東カザフスタン))



上の表は東アジア地域における口蹄疫の発生状況ですが、継続的に発生している事が分かります。韓国は口蹄疫ワクチン接種清浄国の認定を受けていましたが、2014年7月に豚での本病の発生が確認されて以降、発生が継続し、12月以降だけでも35戸(牛1戸、豚34戸)で本病の発生が確認されています。中国では12月以降2戸で発生が報告されています。

このような状況に加え、これから春節(平成27年2月19日)を迎えるにあたり、特にアジア地域における人や物の動きが一層盛んになり、我が国へ口蹄疫ウイルスが侵入する恐れが高まると考えられます。

口蹄疫の発生を未然に防ぐため、農場に出入りする人や車両の消毒、発生国への渡航の自粛、早期通報等の飼養衛生管理基準の遵守の再徹底をお願いします。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	韓国	12月3日～12月19日	豚	O
高病原性 鳥インフルエンザ	インド	11月28日～12月11日	あひる	H5N1
	ベトナム	11月29日～12月13日	家きん	H5

1月5日現在

**通報**

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。  
**天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668**